

情報活用 WG

ヨシモトコレクション（動物のはく製）の 3D モデルを観察して、形態の系統樹を書く実践を予定している。対象は大学生で、11 月の中旬に実施する予定である。ミーティングの直前に、3D モデルの開発者に会うことができ、授業で活用・論文等で報告する許可を頂いた。系統樹を書くアプリの利用手順書を送る（このメールに添付）ので、中学や高校で実践してくださる方を募集中である。

【参考】

・ヨシモトコレクションの 3D モデル

<https://www.kahaku.go.jp/research/db/zoology/yoshimoto/database/index3D.html>

・実践で利用するアプリ

<https://tlab-edusys.azurewebsites.net/tree>

ミウラ折り WG

博物館 WG

科学史 WG

書籍「たった一つを変えるだけ」を参考に、「問い」の選定をおこなった（詳細は配布のプリントを参照）。前回のミーティングでは科博の日本館を回り、ルールを設けずに「問い」を発散させており、出てきたすべての「問い」が並べられていた。この中から「問い」選び出すために、まず「問い」の目的（レポート、探究活動、など）と、指示（探究したい問いを三つ選べ、など）を各自決めた。並べられた「問い」の中から指示に合うものを選び出したのち、3~4 人のグループを作って発表しあった。なお、選定の前に「問い」をテーマ（顕微鏡、時計、など）に分けられる可能性もあったが、今回はテーマ分けを行わなかった。

ワークシート WG

先生方がすでに科博で実践した実績のあるワークシートを募集し、それらを COSMOS メンバーで実践し、意見を集約して新しいワークシートを作ろうと考えている。作成したワークシートは、対象の年齢（小学生向け、高校生向け、など）や、単元（生物の教科書にフィットさせる）により分類することで、ターゲットを明確にすることにしている。ただし、小学生向けのワークシートを高校生が使いたい場合もあるので、年齢はぼかして方が良い（ミドルレベル、ハイレベル、など）という意見があった。また、作成するワークシートだけでなく、作成する過程の話し合いや、ワークシートの要件出しにも大きな価値があるだろうという話になった。ワークシートの募集に関しては先生方にメールを送るほか、博物館ごとに作成されているワークシートをできるのではという意見もあった（理科教育学会などで研究報告もあり）。

次回

10 月 12 日（科博）

Slack の使い方

WG の報告（実践は未定）